

# 第2次総合計画 平成28年度 施策・事業 実績シート

理念	基本目標	基本施策	
安心	安心して暮らす	1. 安心して子どもを育てる	P1
		2. 安心して働ける	P3
		3. 健康を維持・増進する	P5
		4. 日々の暮らしを守る	P7
	生命と財産を守る	5. 医療と救急を充実する	P9
		6. 犯罪や事故を防ぐ	P11
		7. 災害から身を守る	P13
快適	まちの魅力を高める	8. 自然を守り、活かす	P15
		9. 魅力あるまち並みを創る	P17
		10. 歴史・文化を活かす	P19
	便利に暮らす	11. 戦略的に道路をつくる	P21
		12. 移動手段を充実する	P23
		13. 便利な消費生活を送る	P25
		14. 暮らしやすさを保つ	P27
活力	いきいきと暮らす	15. 学ぶ力をつける	P29
		16. 共に生きる力をつける	P31
		17. 生きがいを持って暮らす	P33
	みんなでまちをつくる	18. まちの担い手になる	P35
		19. 地域自治力を高める	P37
		20. さまざまな担い手がつながる	P39
	まちを元気にする	21. 産業を育成・支援する	P41
		22. 交流と連携で元気になる	P43
		23. 持続可能型の社会をつくる	P45



# 施策・事業 実績シート

基本施策	1 安心して子どもを育てる		
理念	安心	基本目標	安心して暮らす
目指す方向	子どもを安心して産み育て、家族が健やかに成長することができる地域での子育て環境づくりを目指します。		

## 目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①出生数(単位:人)	目標		354	361	368	375	381	416
	結果		378	290				
②合計特殊出生率(単位:%)	目標		1.64	1.68	1.72	1.76	1.80	2.00
	結果		1.64	1.52				
③子育て環境が良いと感じている子育て中の市民(単位:%)	目標		37.0	39.0	41.0	43.0	45.0	50.0
	結果		36.2	33.4				
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

## 課題解決のための施策

・妊娠、出産、子育てまでの切れ目のない包括的な支援体制を構築します
・放課後の子どもの居場所を確保し、働きながら安心して子育てできる環境をつくります
・誰もが必要な教育を受けることができる体制を構築します
・安心して学校へ通うことができる仕組みを構築します

## 基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	子ども等福祉医療費助成事業	590,234	③	福祉医療受給対象者(重度心身障害者2,816人、乳幼児等6,186人、母子家庭等894人、父子家庭等53人、総数9,949人)に対し、医療費の助成を行った。
2	子ども・子育て支援事業	2,357	③	子ども・子育て会議を2回開催し、子ども・子育て支援事業計画(H27～H31)及び次世代育成支援行動計画(H28～H31)の推進と進行管理を行った。具体的な内容としては、切れ目ない子育て支援施策の周知を図るために、リーフレット「ひとねるサポート」を作成し、子育て世帯へ配布した。子育て支援事業として育児支援ヘルパー派遣事業(延べ41件)や瑞浪市の施設を利用した病後児保育事業(延べ5件)を実施し、安心して子育てできる環境の向上を図った。また、病児保育所の開所準備を行った。(旧市立恵那病院を改修)
3	ファミリーサポートセンター事業	5,107	③	会員制による子どもの一時預かりや送迎などのサポートを行い、働く親の支援活動や、地域の中での子育て支援の環境づくり、及び育児支援体制の強化を図った。年間延べ1,237件の援助活動を実施し、平成28年度末の会員数は依頼会員570人、援助会員163人、両方会員72人の合計805人となっている。利用者の経済的負担軽減のため、平成28年度からファミリーサポートセンター利用促進補助金を交付した。
4	こども発達センター事業	11,628	③	言葉や心身等の発達に不安が見られ、本来の能力が十分に発揮できない子どもに対して、一人一人の子どもに適した指導を行い健やかな発達を促し早期療育指導を行った。施設は恵那市社会福祉協議会を指定管理者として運営し年間延べ7,093人の利用があった。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
5	放課後児童対策事業	86,308	③	就労等により保護者が不在となる時間帯(放課後、土曜日、長期休暇等)の児童に向け、放課後児童クラブ(通年11クラブ、季節3クラブ)を展開し、子育て世帯が安心して働ける環境づくりを図った。また、通年クラブの拡充に向け、4クラブの開業準備に取り組んだ。
6	児童家庭支援事業	7,323	③	ひとり親世帯の指導及び助言(延べ176回)とともに社会参加への支援を行った。また、家庭のさまざまな問題(児童虐待、養育不安、DVなど)に対し、指導・助言などの支援(延べ442回)を行うとともに要保護児童・DV防止対策地域協議会により各機関との連携を図った。
7	子育て支援センター事業	23,851	③	子育て支援の拠点施設である、こども元気プラザと子育て支援センター(やまびこ、武並、中野方、岩村、山岡、明智、吉田、上矢作)及び出張子育て支援センター(串原、みさと)において、未就園児の親子を対象に子育てに関する講習、子育て相談、情報提供などを行い、子育て親子の交流の場の提供と交流促進を行った。また、市民団体が運営する「つどいの広場」(岩村町)に対して運営補助を行った。
8	障がい児通所支援給付事業	81,109	③	障がい児一人ひとりに応じた支援計画を作成し、子どもの特性に応じた健やかな発達を促すよう早期療育指導を行った。
9	母子保健事業	3,937	③	妊娠から乳幼児期までの健やかな成長、発育発達および育児を支援するために、健診(乳幼児期)・相談・教室・訪問指導等を実施した。
10	妊娠・出産支援事業	36,989	①②	安心して子どもを産むことが出来るように、妊婦健診に係る費用の助成を行った。また、一般不妊治療及び特定不妊治療の助成を行った。さらに、平成29年度からの産後ケア及び産前産後サポート事業の実施に向けた準備を行った。
11	産婦人科推進事業	33,527	①②	市立恵那病院産婦人科開設準備に係る交付金
12	こども園建設事業	61,678	③	新こども園建設に向けて、建設委員会を7回開催し基本計画を作成した。前年度に引き続き、建設工事設計業務、土壌汚染対策業務を実施するとともに用地購入及び家屋移転補償を行った。
13	こども園管理運営事業	1,097,700	③	制度導入2年目のこども園(16園)では、発達や学びの連続性を確保し、集団生活の中で遊びを通して、園児一人一人の発達に応じて「生きる力」の基礎となる心情、意欲、態度など総合的に育むことを目的に恵那市幼児教育の共通の取り組みとして4本の柱(あいさつ、読書活動、英語遊び、特色ある園活動)を掲げて教育・保育を実施した。
14	教育・保育施設支援事業 地域型保育支援事業	142,360	③	私立保育園2園と保育の実施に関する委託契約を締結し、保育園の運営費として国の基準により算出した委託料を支払った。また、認可外保育所1ヶ所に施設補助金及び利用者補助金を助成して支援を行った。なお、保護者の利便性を図るため、市外保育園(9園)への広域入所を実施した。
15	私立幼稚園支援事業	25,048	③	私立幼稚園授業料について、公立こども園等との格差是正を目的に就園奨励費補助金を助成した。
16				
17				
18				

# 施策・事業 実績シート

基本施策	2 安心して働ける		
理念	安心	基本目標	安心して暮らす
目指す方向	市内や通勤可能な地域において魅力ある雇用の場を創出するとともに、仕事と生活の調和が配慮された安心して働くことができる環境をつくります。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①一般(フルタイム)年間平均有効求人倍率(単位:-)	目標		1.05	1.05	1.05	1.05	1.05
	結果	1.01	1.14				
②働く環境に不満を感じていない市民(単位:%)	目標		49.0	49.5	50.0	50.5	51.0
	結果	48.6	48.4				
③子育て支援企業の登録企業数(単位:事業所数)	目標		40	50	60	70	100
	結果	31	74				
	目標						
	結果						
	目標						
	結果						

## 課題解決のための施策

・市民の生活の安定を目指し、起業の支援や、非正規雇用から正規雇用への転換を促進します
・求職ニーズと求人ニーズの乖離の縮小を目指します
・働きたい人が働ける社会を築けるように就労環境の改善を図ります
・働き続けることができる環境づくりを促進します

## 基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	労働対策事業	54,630	②③	恵那市の産業基盤を支える労働者の福利厚生、生活安定の向上を目的に安心して働ける環境づくりを促進した。
2	企業誘致推進事業	150,655	①②	雇用機会の増大と企業の適正配置を図るため、新たな企業の誘致と既存企業の育成に努めた。 企業等立地促進条例に基づき、15社へ奨励金を交付した。 新たな働き方の創出のため、明智町のおもちゃ資料館を体験サテライトオフィスとしてリニューアルスタートさせた。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容

# 施策・事業 実績シート

基本施策	3 健康を維持・増進する		
理念	安心	基本目標	安心して暮らす
目指す方向	一人ひとりが健康についての意識を高めて、できるだけ元気に長寿社会を楽しむことができるよう、地域と連携して健康寿命の延伸を推進します。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①男平均健康寿命(単位:歳)	目標		70.80	70.90	71.20	71.50	73.00
	結果	70.72	71.56				
①女平均健康寿命(単位:歳)	目標		74.30	74.40	74.60	74.80	76.00
	結果	74.18	76.38				
②介護保険給付費(単位:百万円)	目標		5,438	5,602	5,586	5,561	5,811
	結果	5,132	5,132				
③第1号被保険者(65歳以上)の介護認定率(単位:%)	目標		17.2	17.5	17.7	17.8	18.5
	結果	17.1	16.8				
④第2号被保険者(40歳～64歳)の介護認定率(単位:%)	目標		0.34	0.34	0.33	0.33	0.30
	結果	0.33	0.32				

## 課題解決のための施策

・市民の健康意識を高めるとともに、社会保障費への関心を高めます
・生活習慣病患者の増加を防ぎます
・健康維持・増進に取り組める環境を整備します

## 基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	健幸まちづくり事業	7,841	①②③④	健康寿命の延伸をテーマに、健康づくりへの関心を持っていただき、生活習慣へ繋がるきっかけ作りとなることを目的とした事業を行った。
2	山岡健康増進センター管理運営事業	25,234	①②③④	住民の健康増進を目的とした施設運営を行った。
3	特定健康診査等事業	40,013	①②③④	生活習慣病の疾病予防のため、40歳から74歳までの被保険者に特定健診及び特定保健指導を行った。
4	保健推進事業	8,136	①②③④	生活習慣病予防のための各種健診(健診)、健康教育、健康相談を行った。また特定健診要指導者の方に必要な保健指導を行い、生活習慣改善に向けての活動を行った。若いひと、基本健診 210人、肝炎ウイルス検診 140人、骨密度検診 497人、節目健診 139人、歯周疾患検診 238人
5	がん検診事業	22,462	①②③④	がんの早期発見、早期治療のため各種検診を行った。胃、肺、大腸、前立腺がん、乳、子宮頸がん検診 延べ6,818人

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
6	歯科保健推進事業	4,305	②③④	各種歯科保健事業を通じて、歯科口腔の健康づくりを推進した。



# 施策・事業 実績シート

基本施策	4 日々の暮らしを守る		
理念	安心	基本目標	安心して暮らす
目指す方向	誰もができるだけ自立して暮らすことができ、社会の中でも役割を担い、いきいきと活動することができる、誰もが出番のある社会を目指します。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①日々の生活に不安を感じている市民(単位:%)	目標		57.0	57.0	57.0	57.0	57.0
	結果	57.3	66.8				
②日常生活で困った時に相談先がある市民(単位:%)	目標		87.5	88.0	88.5	89.0	95.0
	結果	87.3	94.5				
③近所の人と話す機会がある高齢者(単位:%)	目標		72.0	73.0	74.0	75.0	80.0
	結果	71.6	61.4				
④障がいのある人への理解度(単位:%)	目標		86.8	87.0	87.5	88.0	90.0
	結果	86.6	78.6				
	目標						
	結果						

## 課題解決のための施策

・生活の基盤となる医療や住まいを保障し、誰もが安心して生活できる社会を実現します
・要介護高齢者の増加に対応し、行政と地域が連携したケア体制を構築します
・障がいのある方が理解され、地域社会で共生できる社会を構築します
・充実した福祉サービスの提供を図るための人材確保につとめます
・地域コミュニティの再生を図り、相互扶助機能の向上を目指します
・生活困窮者や就労困難者への積極的な支援を推進します
・高齢者に活躍の場を確保し、高齢者の生きがいをづくりを進めます

## 基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	地域福祉推進事業	56,443	①④	地域福祉活動の推進と社会福祉協議会の活動支援を行った。
2	障がい者地域生活支援事業	68,879	①④	障がいのある方々が、自立した生活を営むことができるよう各種事業による支援を行った。
3	生活困窮者自立支援事業	21,703	①	生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し支援を行った。
4	高齢者活躍支援事業	26,903	①②③	高齢者が培った豊かな知識や技術、経験を基に、生きがいを持って働く場を提供するシルバー人材センターの円滑な運営を図るため、運営事業の支援を行った。 高齢者の健康増進、地域貢献、相互の親睦等の活動を行う壮健クラブに対し、事業の活動支援を行った。
5	認知症予防事業	4,577	①②③	回想法を活用することにより、高齢者の社会参加の促進を図り、生きがいをづくりや地域交流の場所を提供した。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
6	高齢者等生活支援事業	17,988	①	敬老事業は、80歳以上の高齢者を助成対象者として、市内各自治会及び高齢者福祉施設等において長寿を祝う催しを行った。また、99歳以上の高齢者に敬老賞賜金を贈呈した。ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象に、寝具消毒乾燥事業や訪問理美容等を実施し、高齢者等の生活の質の向上負担軽減を図った。成年後見制度の利用について支援を行うため、中津川市と共同で東濃成年後見センターへ事業委託し、制度の利用支援と制度の周知を図った。
7	介護保険介護給付事業	5,131,542	①	介護サービス等経費、介護予防サービス等諸費、高額介護サービス等費、高額医療合算介護サービス等費、特定入所者介護サービス等費
8	高齢者地域支援事業	179,510	①②③	高齢者が住み慣れた地域で生き生きとした生活が続けられるようにするため、地域全体で高齢者を支えるとともに、高齢者自身も地域や社会活動に参加し、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進めた。 ※介護予防事業、地域包括支援センター事業、任意事業、包括的支援事業、介護予防・日常生活支援総合事業
9	市営住宅維持管理事業	74,610	①	低所得者層へ低廉な家賃で住宅を供給するための住宅保全、維持管理、住環境整備等を行った。
10	雇用促進駐車場管理事業	72	①	山岡雇用促進住宅駐車場の管理運営を行った。
11	市営住宅整備事業	2,698	①	定住促進住宅設計業務を行った。
12	高額療養費貸付基金積立金	4	—	高額療養費貸付基金積立金

# 施策・事業 実績シート

基本施策	5 医療と救急を充実する		
理念	安心	基本目標	生命と財産を守る
目指す方向	病院や診療所との連携など、地域の医療体制を充実するとともに、急病やけがなどから命を救うことができる救急体制の充実を目指します。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①かかりつけ医のいる市民 (単位:%)	目標		55.0	56.0	57.0	58.0	65.0
	結果	54.1	59.8				
②医療環境に不満を感じていない市民(単位:%)	目標		55.0	55.5	56.0	56.5	60.0
	結果	55.0	61.1				
③患者医療機関収容時間 (単位:分)	目標		41.5	41.0	40.5	40.0	39.0
	結果	42.0	42.8				
④応急手当資格者数(実) (単位:人)	目標		3,100	3,300	3,500	3,700	5,000
	結果	2,900	3,041				
	目標						
	結果						

## 課題解決のための施策

・病院・診療所などについて、更新などの費用負担に対応した効率的な運営を図ります
・市民ニーズに対応するための医療環境を整備します
・通院のための移動サービスの充実を図ります
・救急ニーズへの対応を図るとともに、適正な救急医療の受診を促進します

## 基本事業の実績

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
1	病院事業(一般会計負担分)	2,939,244	②	病院の経営に対する一般会計からの繰出金 病院事業会計 市立恵那病院・国民健康保険上矢作病院分
2	市立恵那病院再整備事業	5,550,389	②	新市立恵那病院建設に係る経費 建築工事 電気設備工事 機械設備工事 医療機器購入 備品購入等
3	市立恵那病院運営事業	3,066,624	②	市立恵那病院の運営に係る経費
4	国保上矢作病院運営事業	938,587	②	国保上矢作病院の運営に係る経費
5	市立恵那病院医療機器等更新事業	48,654	②	X線透視診断装置、手術台、耳鼻咽喉科等医療機器の更新を行い、医療向上を図った。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
6	国保上矢作病院医療機器等更新事業	10,675	②	X線骨密度測定装置、療養ベッド等の更新を行い、医療の向上を図った。
7	病院施設整備更新事業	15,813	②	市立恵那病院、国保上矢作病院の施設維持に係る経費
8	診療所事業(一般会計負担分)	133,657	①②	診療所の経営に対する一般会計からの繰出金 国民健康保険診療所事業会計 三郷・飯地・岩村・山岡・串原・上矢作歯科 各診療所分
9	国保診療所運営事業	614,077	②	市内6診療所の運営に係る経費
10	国保診療所医療機器等更新事業	5,010	②	心電図検査装置(飯地)、オージオメータ(岩村)などの医療機器等を更新し、医療の向上を図った。
11	国保診療所施設整備更新事業	8,204	②	国保診療所施設維持に係る経費
12	地域医療確保対策事業	55,841	①②	初期救急医療体制として、恵中医会・恵南医会に依頼した在宅当番医制の定着化により、休日及び夜間における地域住民・救急患者の医療の確保を図った。
13	救急活動事業	6,366	②③	救急活動を安全、迅速、確実に遂行するための資器材整備、機械器具の保守点検及び、救命率向上を目標とした救急隊員・救急救命士の各種研修の派遣に努めた。
14	応急手当普及啓発事業	8,928	④	市内に設置済であるAED61台の更新を実施した。また、市民の救命率向上を目的に、AED講習をはじめとする応急手当普及啓発を行った。
15	救急施設整備事業	3,952	②③	ドクターヘリコプター等の離着陸ヘリポートの整備及び救急活動備品を救急車に整備し、救急活動等の高度化を推進した。
16	市立恵那病院残施設利活用事業	105,229	②	旧恵那病院の外来診療棟を改修し、通所リハビリ施設・訪問看護ステーション・院内保育所を整備した。

# 施策・事業 実績シート

基本施策	6 犯罪や事故を防ぐ		
理念	安心	基本目標	生命と財産を守る
目指す方向	防犯・交通安全意識を高め、関係機関と地域が一体となって、防犯・交通安全環境の充実を目指します。		

## 目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①人身交通事故発生件数 (単位:件)	目標		150	145	140	135	130	110
	結果	157	135					
②治安が悪いと感じている 市民(単位:%)	目標		16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
	結果	16.1	18.2					
③犯罪率(人口1,000人当 たりの刑法犯認知件数) (単位:件/千人)	目標		6.4	6.3	6.2	6.1	6.0	5.5
	結果	6.8	4.4					
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

## 課題解決のための施策

・高度化する犯罪への注意喚起を行います
・交通事故の発生を抑制します
・地域での防犯や交通安全への取り組みを支援します

## 基本事業の実績

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
1	防犯まちづくり事業	6,862	②③	防犯ボランティア等による防犯意識の向上を図り、安全安心なまちづくりの推進に努めた。また、都市公園3ヶ所に8台の防犯カメラを設置した他に、防犯カメラを設置した3つの自治会に防犯設備整備費補助金を交付した。
2	交通安全まちづくり事業	5,502	①	交通安全市民総ぐるみ街頭指導、巡回広報活動を年4回実施した。また、こども園等で交通安全教室を79回開催し、交通安全指導及び思想の普及と啓蒙を通じ、交通安全意識の向上に努めた。
3	交通安全対策施設整備事業	13,117	①	交通安全施設の整備に要する経費 交通安全施設工事費、交通安全支給用原材料、カーブミラー修繕等

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容

# 施策・事業 実績シート

基本施策	7 災害から身を守る		
理念	安心	基本目標	生命と財産を守る
目指す方向	地震や風水害、土砂災害、火災などのさまざまな災害から命を守り、できるだけ被害を少なくするように地域や家庭における備えを充実します。		

## 目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①地区防災計画の取組(単位:-)	目標		地域自治区単位での実践率80%	地域自治区単位での実践率100%	地域の区単位での計画策定	地域の区単位での実践率80%	地域の区単位での実践率100%	単位自治会での実践率100%
	結果	地域自治区単位での計画策定	地域自治区単位での実践率100%					
②緊急避難場所を知っている市民(単位:%)	目標		78.0	79.0	80.0	81.0	82.0	89.0
	結果	77.7	83.1					
③防災に対する備えに不安がある市民(単位:%)	目標		49.0	48.0	47.0	46.0	45.0	40.0
	結果	50.0	62.7					
	目標							
	結果							

## 課題解決のための施策

・地域、企業、各種団体などのさまざまな力を結集し、災害対応に向けた共助力の向上を図ります
・市民全体で自助の精神を持てるよう啓発を行い、災害を最小限に食い止めます

## 基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	防災推進事業	44,776	③	災害に備えて、防災行政無線施設の修繕や保守点検を行い、適切な維持管理に努めた。
2	地域防災力向上事業	4,779	①②③	地域防災力向上のため自主防災組織、防災リーダー等の育成や消防防災センター・地震体験車を活用した体験研修を実施するとともに保存食のアルファ米3,000食、保存水1,002本を購入し備蓄品を充実させた。また、13地区において地区防災計画に基づいた取り組みを行い、成果発表会を開催した。
3	建築物耐震促進事業	8,421	③	木造住宅等の耐震促進事業等を行った。
4	空家解消対策事業	4,694	③	適切な管理が行われていない空家等の対策を実施するために特定空家等審査会を設置した。 また適正な管理が行われず所有者を調査したものの、所在が不明な特定空家について、通行する人及び車両に危害を与える可能性が高かったため、行政代執行により除却した。
5	消防水利整備事業	13,241	③	消火栓の設置及び防火水槽の新設、維持管理を行い、消防水利充足率の向上に努めた。また、消火栓放水器具の設置事業を進め、市民が利用できる消火栓数を増やした。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
6	常備消防施設整備事業	7,457	③	消防車両、庁舎、機器及び消防救急デジタル無線設備の修繕を実施した。各種資器材の補充と整備により、消防活動の安全対策及び迅速性の向上を図った。
7	非常備消防一般運営事業	121,437	③	消防団員の資質の向上と災害に即応できる人材の育成を図り、地域住民の期待と信頼の確保に努めた。(基本団員1,078人 機能別団員135人)
8	非常備消防施設整備事業	56,044	③	消防団施設の統廃合により、拠点施設の効率化を実施した。また、消防団車両等の更新を実施し、地域消防力の充実強化を図った。
9	非常備消防管理事業	12,593	③	消防団拠点施設及び消防車両の維持管理に努め、消防団員が活動しやすい環境整備と安全対策を実施した。
10	防火まちづくり推進事業	2,016	③	女性防火クラブ、少年消防隊に対し防災教育を実施し、防火防災意識の高揚を確立した。



# 施策・事業 実績シート

基本施策	8 自然を守り、活かす		
理念	快適	基本目標	まちの魅力を高める
目指す方向	豊かな自然との調和を目指し、山林や里山、河川などの自然環境を長期的な視野で保全するとともに、皆が親しめる場としての活用を図ります。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①恵那市の自然に愛着を持っている市民(単位:%)	目標	/	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	結果	67.6	70.1				
②景観形成重点地区の指定数(単位:箇所)	目標	/	0	1	1	2	5
	結果	0	0				
③自然環境を保全し、活用する団体数(単位:組織数)	目標	/	11	12	12	13	15
	結果	11	11				
	目標	/					
	結果						
	目標	/					
	結果						

## 課題解決のための施策

・自然環境や農地の保全活動を推進します
・魅力ある自然環境空間づくりを進めます

## 基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	森林保全促進事業	70,573	①②③	森林の多面的機能維持と災害防止のため、市有林間伐を行った。民有林への間伐補助及び新規の作業道への補助を行い、間伐推進を行った。森林の大切さを伝えるための講座や木工コンテストを開催した。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容

# 施策・事業 実績シート

基本施策	9 魅力あるまち並みを創る		
理念	快適	基本目標	まちの魅力を高める
目指す方向	魅力を活かしたまち並み(景観)形成を進めるとともに、快適に暮らすことができる計画的な土地利用を進めます。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①恵那市のまち並み景観が良いと感じている市民(単位:%)	目標		33.0	34.0	36.0	38.0	50.0
	結果	32.4	31.4				
②景観形成重点地区の指定数(単位:箇所)	目標		0	1	1	2	5
	結果	0	0				
③計画的土地利用整備済み箇所数(単位:箇所)	目標		4	4	4	4	8
	結果	4	4				
	目標						
	結果						
	目標						
	結果						

## 課題解決のための施策

・計画的な地域整備を推進します
・良好な景観とまち並みを市民と共に形成していきます
・安心安全な憩いの空間を創造します

## 基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	都市計画推進事業	1,341	③	都市計画土地区画整理事業の決定、用途地域及び都市計画道路の変更を行った。
2	景観形成事業	719	①②	恵那市景観審議会を開催し、景観重要樹木の指定を行うなど恵那市景観計画の推進に努めた。
3	土地区画整理事業	20,537	③	組合施行の正家第二土地区画整理事業A=12.8ha(H28年度～H32年度)の実施に合わせ、都市計画道路2路線の整備に向けて、測量設計業務及び補償算定業務を実施した。
4	憩いの空間維持・整備事業	20,004	①③	市民の身近な憩いの場として利用されている都市公園(まきがね公園を除く)の維持管理について(一財)施設管理公社へ委託し、管理業務を実施した。恵那駅前広場の芝刈り、サニーハイツの草刈り及び植栽管理をシルバー人材センターへ委託し、管理業務を実施した。
5	武並駅周辺整備計画策定事業	0	①③	駅周辺整備計画策定に向け、現地の状況の把握に努めた。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
6	地籍調査事業	134,553	③	調査実施地区として新規1地区、継続12地区(内、完了2地区:東野花無山、串原閑羅瀬1、大梁)の換算面積で4.73km <sup>2</sup> の調査に要した経費 要調査面積452.59km <sup>2</sup> に対して、調査済面積(換算面積)は198.48km <sup>2</sup> (進捗率43.9%)
7	リニアまちづくり事業	203,566	①③	大井町野尻野畑大井長島地区から恵那駅方面へのアクセス道路を検討するため概略設計を行った。 リニアまちづくり構想を実施する財源として2億円を基金へ積み立てた。 講演会を開催し、リニアを生かしたまちづくりを啓発した。

# 施策・事業 実績シート

基本施策	10 歴史・文化を活かす		
理念	快適	基本目標	まちの魅力を高める
目指す方向	文化財、伝統芸能、祭りなどの歴史・文化を保全・継承しつつ、まちづくりに活かし、地域への誇りと愛着を醸成します。		

## 目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①居住地域の文化や風習を、生活の中で感じている市民(単位:%)	目標		65.0	68.0	71.0	74.0	77.0	80.0
	結果	62.2	67.1					
②地域の祭りなどに参加した市民(単位:%)	目標		68.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	結果	66.3	68.6					
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

## 課題解決のための施策

・ふるさとの歴史・文化について理解を深める活動を推進します
・郷土愛を育むまちづくりを推進します
・文化財、伝統文化の保全・継承に向けた地域づくりを進めます

## 基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	伝統芸能保存伝承事業	7,620	①②	伝統芸能大会、伝統保存文化育成事業へ助成し、芸術文化の振興と伝統芸能の保護保存を図った。
2	文化財の調査・保存・活用事業	128,896	①	国選定の貴重な文化財である岩村町本通り伝統的建造物群保存地区の適切な保存活動を実施し、視察・研修受け入れなどを通して歴史学習の場、観光地としても有効活用を行った。また、地区内の伝統的建造物の修理修景工事への補助を行った。指定文化財は、巡視管理、修繕助成などを行い、その保護と活用に努めた。行在所の改修設計や正家廃寺跡の調査や測量、大船神社参道の松並木の松くい虫駆除、並びに指定管理施設の管理業務等を行った。
3	美術館管理運営事業	50,994	①	公益財団法人中山道広重美術館に中山道広重美術館の指定管理委託を行い、適正な管理運営に努めた。浮世絵を中心とした特別企画展2回、企画展を4回開催した。この他に講座の開講や商店街連合会との連携事業として夏祭りにあわせた夜間開館を実施した。
4	歴史まちづくり事業	10,006	①	歴史的風致維持向上計画を推進するため中山道宿場町大井地区都市再生整備計画(H26年度～H30年度)に基づき、事業を推進した。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容

# 施策・事業 実績シート

基本施策	11 戦略的に道路をつくる		
理念	快適	基本目標	便利に暮らす
目指す方向	リニア中央新幹線を活かした道路、経済基盤や観光機能を強化する道路、住宅整備のための道路など、明確な目的を持ち、戦略的に道路整備を進めます。		

## 目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①道路整備計画(仮)の進捗状況(単位:-)	目標		策定	→	→	→	→	→
	結果		策定					
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

## 課題解決のための施策

・明確な目的を持った、戦略的な道路整備を進めます

## 基本事業の実績

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
1	国県道事業等負担金負担事業	35,904	①	県事業に対する負担金
2	主要市道整備事業	221,857	①	主要市道の整備により、交通の利便性の向上を図る経費 袖畑笠作線・清水白坂線改良事業(東野)の完成(2車線、片歩道、L=1.58km)、過疎自立支援計画(大竹松本線測量設計等)、笠周地域振興計画(飯地中野方線詳細設計等)

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容



# 施策・事業 実績シート

基本施策	12 移動手段を充実する		
理念	快適	基本目標	便利に暮らす
目指す方向	公共交通をはじめとする各種移動手段について、総合的な利便性の向上を図ります。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①地域内有償運送※がカバーしている地域(単位:地域)	目標		1	2	5	5	10
	結果	0	1				
	目標						
	結果						
	目標						
	結果						
	目標						
	結果						
	目標						
	結果						

## 課題解決のための施策

・持続可能な移動手段や、交通弱者が利用しやすい移動環境を整備します
・多様な移動手段を連携させます

## 基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	地域交通網対策事業	15,600	①	地域公共交通を持続可能なものとするため、バスやタクシーが対応できない地域(交通空白地域)の移動手段の確保に努めた。
2	基幹交通対策事業	236,515	①	地域住民や観光客にとって便利で快適な移動手段を確保するため、明知鉄道を中心とした鉄道やバスなどの総合的な公共交通ネットワーク構築に努めると共に、明知鉄道と廃止代替バスとして自主運行バス23路線85系統に対する補助を行った。
3	遠距離通学等対策事業	67,195	①	遠距離通学児童・生徒の安全な登下校のため、スクールバスの運行と定期券回数券の交付に加え、公共交通機関やスクールバスの利用ができず自家用車で送迎をしている保護者に対し通学補助金の交付を行った。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容

# 施策・事業 実績シート

基本施策	13 便利な消費生活を送る		
理念	快適	基本目標	便利に暮らす
目指す方向	生活必需品の購入が困難になりつつある地域においても買い物ができるようにするなど、誰もが便利な消費生活を送れるようにします。		

## 目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①日用品の買い物に不便を感じた市民(単位:%)	目標		13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0
	結果	13.5	9.0					
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

## 課題解決のための施策

・買い物弱者を対象にした支援を進めます
・周辺地域での「小さな拠点」づくりを模索します

## 基本事業の実績

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
1	買い物支援事業	1,880	①	高齢者等の買い物弱者の支援をするため、市内業者と協力し移動販売車を運行し、買い物環境の維持充実に努めた。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容

# 施策・事業 実績シート

基本施策	14 暮らしやすさを保つ		
理念	快適	基本目標	便利に暮らす
目指す方向	市民生活を支える生活道路や上下水道、ごみ処理、通信基盤などの暮らしの基盤を保ちます。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①上下水道サービスに不満を感じていない市民(単位:%)	目標		84.0	84.0	84.0	84.0	84.0
	結果	83.3	80.8				
②生活道路に不満を感じていない市民(単位:%)	目標		80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	結果	78.5	71.9				
③通信環境に不満を感じていない市民(単位:%)	目標		80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	結果	79.8	82.6				
④ごみ収集サービスに不満を感じていない市民(単位:%)	目標		91.0	91.0	91.0	91.0	91.0
	結果	90.9	92.6				
	目標						
	結果						

## 課題解決のための施策

・暮らしを支えるライフラインを維持します
・災害に強い情報通信基盤の整備を推進します
・ごみ問題や環境に対する対策を推進します

## 基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	環境対策事業	19,582	—	河川、工場排水の水質、大気汚染物質、悪臭・騒音・土壌検査等の環境調査の継続により、公害の予防ができた。また、汚濁の負荷量が極めて高い阿木川周辺の工場に対しては、阿木川環境対策協議会や工場24時間排水検査を通して公害防止の強化を図った。「えな環境フェア2016」を市民との協働事業として開催した。環境対策協議会では住民・企業・行政の3者が一体となり環境美化作業、啓発活動に取り組んだ。
2	駐車場管理運営事業	11,718	—	恵那駅西駐車場・武並駅前自転車駐車場、岩村駅前自転車駐車場・山岡駅前自転車駐車場・花白駅前自転車駐車場について、指定管理者による管理業務を行った。また指定管理者から指定管理納付金の納入を受け、駐車場施設整備基金に積み立てた。
3	恵那駅西駐車場大規模改修事業	0	—	指定管理者から施設の状況の報告を受け、大規模改修に向け、情報収集に努めた。
4	道路橋りょう維持管理事業	293,326	②	道路・橋りょうの維持修繕に要した経費
5	道路維持管理支援事業	38,931	②	市民との協働による道路等の維持管理経費

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
6	生活市道整備事業	100,840	②	生活道路の整備により、生活基盤の向上を図る経費 舟山蓮華寺線、中田線、飯地町58号線、明智町225号線、天神前山本線他
7	河川管理事業	1,357	—	河川の管理業務一般経費
8	河川整備事業	14,340	①	排水路及び河川整備を図る経費
9	浄化槽設置促進事業	51,428	①	下水道・農業集落排水事業区域外で、合併処理浄化槽を設置する世帯に対し補助を行った。(71基)
10	下水道事業(一般会計負担分)	560,000	①	公共下水道事業特別会計繰出金
11	水道施設更新事業	45,789	①	大崎浄水場ろ過設備など浄水配水設備の更新、東野などで配水管の更新(L=292.6m)、野井第1ポンプ場更新のための詳細設計などを行った。
12	老朽管更新事業	73,734	①	長島町永田、大井町西銀座の老朽管更新工事を実施(L=1,198.3m)するとともに、後年度に実施予定箇所の測量、詳細設計等を行った。
13	公共奥戸処理区建設事業	439,813	①	終末処理場及び汚水排水施設の整備を図り、衛生的で快適な居住環境づくり及び公共用水域の水質保全に努めた。 (長島地区でのマンホールトイレの設置など)
14	特環岩村処理区建設事業	131,726	①	終末処理場及び汚水排水施設の整備を図り、衛生的で快適な居住環境づくり及び公共用水域の水質保全に努めた。 (電気設備・中央監視制御施設の更新、機械棟の耐震補強など)
15	簡易水道建設事業	33,123	①	山岡町では、新田ポンプ場送水ポンプの更新、田沢地区に地上式消火栓の設置工事を施工した。明智町では、県道豊田明智線改良工事に伴い配水管布設工事(L=153.7m)を施工した。上矢作町では、浄水場に濁り水が入り込まないように鳥浄水場の原水取水施設の改良工事を施工。また、県道瑞浪上矢作線改良工事に伴い支障管の移設工事を施工した。
16	岩村統合簡易水道建設事業	87,136	①	岩村統合簡易水道事業においては、舗装復旧工事、配水管の布設替工事(L=51.9m)、送配水管布設工事(L=838.8m)、原水取水施設の電気設備工事などを実施し、計画事業が全て完了した。
17	上矢作簡易水道建設事業	11,975	①	上矢作木の実地区未普及解消事業においては、舗装復旧工事、配水管布設工事(L=233.3m)を実施し、計画事業が全て完了した。

# 施策・事業 実績シート

基本施策	15 学ぶ力をつける		
理念	活力	基本目標	いきいきと暮らす
目指す方向	学校教育や読書などをきっかけにして学ぶ習慣を付け、生涯を通して学び続ける人を育成します。		

## 目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①物事に積極的に挑戦する児童(小学6年生)(単位:%)	目標		71.0	72.0	73.0	74.0	75.0	80.0
	結果	71.7	72.9					
②物事に積極的に挑戦する生徒(中学3年生)(単位:%)	目標		64.0	65.0	66.0	67.0	68.0	73.0
	結果	62.5	75.0					
③自主的な学習をしている市民(単位:%)	目標		62.0	64.0	66.0	68.0	70.0	75.0
	結果	61.2	59.2					
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

## 課題解決のための施策

・学ぶことができる場の提供を進め、学ぶ習慣の習得を目指します
・生涯を通して学べる体制づくりを進めます

## 基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	読書習慣づくり事業	1,335	①②③	乳幼児のブックスタート事業から切れ目のない子ども読書推進を図るため、幼児用読書手帳を配布し、子供の読書に関わるきっかけづくりをすることができた。また、7ヶ月児教室にて図書館ボランティアの協力のもと、絵本の紹介、絵本の楽しみ方、読み方指導を行うとともに、紹介した絵本などを配布した。
2	読書環境推進事業	3,066	①②③	こども園全園を訪問し、絵本の読み聞かせなど、幼児期の読書活動の充実を図った。また、図書館サポーター、学校、コミュニティセンター図書室と連携して、読書に親しむ機会づくりを行った。地域の読書活動を推進するため、読書活動支援団体と協力し、地域の読書環境整備及びイベント等による読書機会づくりを行った。コミュニティセンター、小中学校への図書配送を行い、学校の授業や朝読書等の活動支援を行った。
3	図書購入事業	12,041	③	郷土資料等、特色のある図書購入を行った。中央図書館利用者の要望に応じ、幅広い分野の図書資料購入に努めることができた。
4	歴史等専門家人材バンク事業	136	③	古文書講座を開設し、広報掲載のものしりおじさんの記事を編集した冊子を作成し、小学校、コミュニティセンターに配布した。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
5	中央公民館講座運営事業	11,300	①②③	市民三学運動の1つの柱である「学んで活かす」を目的とした「防災・古文書」の講座を開講し、地域に生かせるよう取り組んだ。市民講座の企画・運営を行い、生涯学習の普及に努めた。本年度も週末に市内の中学生が子ども講座サポーターとして活動した。市民ロビーでは、クラシックギターやピアノなどの演奏、合唱など9団体によるロビーコンサートや小中学生の作品展を開催し、市民の気軽な発表の場として利用した。生涯学習団体の発表の機会として、文化まつりを3月に開催し団体間の交流を創出した。
6	各コミュニティセンター講座運営事業(11ヶ所)	7,881	①②③	生涯学習の拠点として、市民講座、乳幼児学級を開催し、地域の生涯学習の推進を図った。 ・市民講座 234講座、参加人数延べ3,036人 ・乳幼児学級 147回開催 参加人数延べ2,703人
7	小学校教育振興事業	106,616	①	学習支援員の配置、児童就学援助、理科教育施設整備事業、特色ある学校づくり補助金交付や、学校情報化推進による校務効率の向上及び近年高度化し必要とされる情報リテラシーの習得推進を行った。今年度は研究指定校へタブレット端末及び無線LANの整備を行った。
8	各小学校教育振興事業(14校)	16,197	①	学校教育振興に要する経費
9	中学校教育振興事業	61,924	②	学習支援員の配置、児童就学援助、理科教育施設整備事業、部活動補助、特色ある学校づくり補助金交付や、学校情報化推進による校務効率の向上及び近年高度化し必要とされる情報リテラシーの習得推進を行った。今年度は研究指定校へタブレット端末及び無線LANの整備を行った。
10	各中学校教育振興事業(8校)	12,553	②	学校教育振興に要する経費
11	高等教育振興事業	3,452	—	市内高等学校の魅力高めるため、高校と企業が連携し魅力ある高校づくりを支援することに加え、恵那南高校に明知鉄道で通学する生徒に通学定期の半額補助を行った。
12	学校教育研究事業	11,125	①②	教員への適切な指導、援助を充実させ、教育における今日的な課題に対応し、教育の資質向上と教育内容の充実のためテーマに基づく研究に取り組み、学校教育の向上を図った。
13	特色ある教育推進事業	45,049	①②	特色ある教育推進のため、外国語指導助手の導入。6人の外国人講師を各小中学校に配置して巡回し、英語教育及び外国語活動の充実を図った。また、学校の教育書活動を充実・活性化させるための支援、スケート教室の開催、PTA連合会補助、家庭教育学級運営補助等を行った。
14	教育発達相談支援事業	31,953	①②	専門相談員を配置して、発達障がいに係る相談業務及び発達検査を行うことにより、家庭や学校、こども園などにおける支援のあり方についての助言や指導を行った。また、保健センターやこども発達センターとの連携により発達障がいの早期発見から早期療育につなぐ取り組み等を行った。また、不登校児童生徒に対する適応指導教育相談の充実も行った。心の教室相談員を不登校及び問題行動のある児童の多く在籍する小・中学校に配置することにより児童及び保護者の相談等に応じ子どもの自立援助を行った。
15	中学校の再編検討	0	—	恵那南地区中学校の再編について、これまで議論されてきた内容、学校運営における統合の必要性、住民への説明方法など内部協議。
16	成人教育推進事業	184	③	「求めて学ぶ」学習機会の提供として、明智コミュニティセンターでの高齢者学級を開催した。高齢者学級「ききょう大学」講座7回延べ211人



# 施策・事業 実績シート

基本施策	16 共に生きる力をつける		
理念	活力	基本目標	いきいきと暮らす
目指す方向	家庭・学校・地域など社会全体で、思いやりやマナー、地域への誇りや愛着、社会参画意識の醸成など、社会性や協調性を有した豊かな心を持った人材を育てます。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①地域の行事に参加している児童(小学6年生)(単位:%)	目標		89.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	結果	89.1	88.6				
②地域の行事に参加している生徒(中学3年生)(単位:%)	目標		61.0	62.0	63.0	64.0	70.0
	結果	61.4	64.4				
③まちづくり活動やボランティア活動に参加した若者(40歳未満)(単位:%)	目標		31.0	34.0	37.0	40.0	55.0
	結果	27.6	34.5				
④まちづくり活動やボランティア活動に参加した市民(単位:%)	目標		55.0	55.0	55.0	55.0	55.0
	結果	54.4	56.7				
	目標						
	結果						

## 課題解決のための施策

・家庭、学校、地域など、社会全体で共に生きる力を育みます

## 基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	三学のまち推進事業	12,975	①②③④	第2次三学のまち推進計画により、生涯学習とまちづくりを一体的に推進した。恵那市民大学「恵那三学塾」の充実を図るため、三学のまち講座(6回延べ219人)、大学との連携講座(3回延べ53人)等を実施。生涯学習フォーラムを開催し、まちづくり活動と連携し地域の実践事例発表、特別講演を行った。市内13地域の自主企画による学びの機会「市民三学地域塾」の開講と地域づくり事業を実施し、地域ごとに特色ある事業を行い、市民三学運動の浸透につながった。
2	人権尊重教育事業	31	—	人権同和問題講演会を開催し、人権問題に関心を持ち、正しい理解と認識を深めるよう啓発を行った。
3	青少年育成事業	9,674	①②③④	青少年育成推進員を委嘱し青少年育成市民会議の企画運営及び各部会での活動を行い、青少年育成の推進に努めた。青少年の健全育成を目指し、各種事業の実施、青少年育成啓発、青少年団体への補助金の交付等により一層の振興を図り、市民意識の向上に努めた。成人式実行委員18人を中心に式典の運営やアトラクションの企画運営を行った。放課後の小学校等を活用して、気軽にできる遊びや文化活動など、様々な体験と地域住民との交流を通じて、子どもたちの健全育成を進める活動を行った。
4	家庭教育推進事業	132	—	初めて出産を迎える夫婦を対象としてパパママ学級を6回(参加者104人)、初めての子が1歳を迎える親を対象としてひよこパパママ学級を4回(参加者84人)開催し、家庭での親子のあり方を考える機会を設け、家庭教育の指導や意識啓発を行った。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容

# 施策・事業 実績シート

基本施策	17 生きがいをもって暮らす		
理念	活力	基本目標	いきいきと暮らす
目指す方向	芸術・文化やスポーツ、社会活動、趣味などのさまざまな交流を通じ、楽しみながら充実した人生を送る機会に触れ、生活の質を高めます。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①各種活動(文化・スポーツ・まちづくりなど)に参加した市民(単位:%)	目標		66.0	67.0	68.0	69.0	75.0
	結果	65.7	64.9				
	目標						
	結果						
	目標						
	結果						
	目標						
	結果						
	目標						
	結果						

## 課題解決のための施策

・さまざまな文化・スポーツなどに触れることができる機会の充実を図ります
・さまざまな文化・スポーツなどの活動の質を高め、活動を活発にします

## 基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	文化芸術振興事業	35,003	①	市文化祭、恵那文化会館・かえでホール自主文化事業を文化振興会に委託して実施し、芸術文化の振興を図った。
2	生涯スポーツ推進事業	6,320	①	運動やスポーツを通じた健康づくり、子どもの健全育成に取り組むためスポーツ教室、イベント等を開催した。
3	地域スポーツ推進事業	14,105	①	スポーツ推進委員の知識及び技術の向上を図り、各地域スポーツ推進委員と共にスポーツ事業の立案、実施指導体制の強化に努めた。また、子どもやお年寄りに身近な地域でのスポーツを推進するために、地域スポーツ組織の支援や連携事業の支援、大会の運営を行い、多くの市民参加及びスポーツ振興を図った。
4	競技力向上推進事業	6,327	①	スポーツ振興団体の育成支援に努め、市民主体のスポーツ振興を進めた。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容

# 施策・事業 実績シート

基本施策	18 まちの担い手になる		
理念	活力	基本目標	みんなでまちをつくる
目指す方向	移住・定住を推進し、地域の人口の維持を図るとともに、地域活動の参加者や活動団体を育成し、地域を担う力を高めます。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①社会動態(転入と転出の差)(単位:人)	目標		-183	-137	-92	-46	94
	結果	-285	-197				
②まちづくり活動やボランティア活動に参加した若者(40歳未満)(単位:%)	目標		31.0	34.0	37.0	40.0	55.0
	結果	27.6	34.5				
③まちづくり活動やボランティア活動に参加した市民(単位:%)	目標		55.0	55.0	55.0	55.0	55.0
	結果	54.4	56.7				
	目標						
	結果						
	目標						
	結果						

## 課題解決のための施策

・地域の人口を維持するために移住・定住を促進します
・多くの人々がまちづくりに参加できる雰囲気・場所をつくります
・地域の担い手やまちづくり団体を育成します

## 基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	移住・定住推進事業	105,058	①	恵那暮らしサポートセンター内に移住定住相談窓口を置き相談業務の充実を図った。空き家バンク物件の改修に対して空き家改修補助金を交付した。H28年度から若者世代を応援する事業を行い、移住定住の促進を図った。恵那ことぶき結婚相談所と婚活イベントを実施する活動団体の支援を行った。
2	まちづくり市民活動推進事業	13,694	②③	男女共同参画プラン推進事業では、啓発に力を入れ広報えなでの特集及び定期的な記事掲載、ケーブルTVアミックスでの行政番組としての放映を行い市民及び市内企業に対する男女共同参画への意識改革に努めた。また、男女共同参画プラン推進委員会(17人)を立ち上げ、プランに掲げた目標達成に向けた取り組みの検討及び推進体制の構築を図った。市民活動団体の育成と活動の活発化を目的に、まちづくり市民活動事業として7団体へ助成を行った。また、恵那市市民協会へ支援を行うとともにNPO法人の書類審査及び設立等の相談業務を行った。地域に開かれたダム事業の円滑な推進を図ることを目的とし、平成28年度恵那市で地域に開かれたダム全国交流会の開催を行った。
3	地域の拠点形成事業	2,000	②③	地域のまちづくり活動を推進する振興施設の整備に努めた。
4	コミュニティセンター改修事業	221,320	②③	コミュニティセンターをまちづくりと生涯学習の拠点施設とし地域振興と生涯学習活動を推進するため、コミュニティセンターと振興事務所の統合に努めた。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容

# 施策・事業 実績シート

基本施策	19 地域自治力を高める		
理念	活力	基本目標	みんなでまちをつくる
目指す方向	地域の課題を自ら考え解決に取り組む力(地域自治力※)を高め、コミュニティの再生を図ります。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①地域計画の進捗(単位:%)	目標	→	→	→	→	→	100
	結果	各地域で地域計画の進行管理を行い、平成37年度に100%を目指します。					
②まちづくり活動やボランティア活動に参加した若者(40歳未満)(単位:%)	目標		31.0	34.0	37.0	40.0	55.0
	結果	27.6	34.5				
③まちづくり活動やボランティア活動に参加した市民(単位:%)	目標		55.0	55.0	55.0	55.0	55.0
	結果	54.4	56.7				
	目標						
	結果						
	目標						
	結果						

## 課題解決のための施策

・地域の自治力を高めます

## 基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	地域自治推進事業	159,913	①②③	ふるさとえな応援寄附金 寄附者の受付業務、ふるさとえな応援寄附金を活用した事業支援を行った。 地域自治区制度を充実させ、地域課題を自ら考え解決に向けて取り組む力を高めるための活動に努めた。
2	笠周地域活性化振興事業	11,275	①②③	笠周地域の活性化を促進するため、平成26年度に策定した笠周地域振興計画の振興管理に努めた。
3	過疎地域活性化振興事業	30,714	①②③	過疎地域の活性化を図るため、平成28年度に策定した恵那市過疎地域自立促進計画の推進に努めた。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容



# 施策・事業 実績シート

基本施策	20 さまざまな担い手がつながる		
理念	活力	基本目標	みんなでまちをつくる
目指す方向	さまざまな担い手(地域自治体、人、学校、民間企業など)がそれぞれの特長を活かしながら、効果的に協力・連携し、相乗効果を発揮します。		

## 目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
連携の事例	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

## 課題解決のための施策

・さまざまな担い手による特長や課題の共有と、効果的な協力・連携を支援します

## 基本事業の実績

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
1	地域自治推進事業(再掲)	159,913	—	ふるさとえな応援寄附金 寄附者の受付業務、ふるさとえな応援寄附金を活用した事業支援を行った。 地域自治体制度を充実させ、地域課題を自ら考え解決に向けて取り組む力を高めるための活動に努めた。
2	笠周地域活性化振興事業(再掲)	11,275	—	笠周地域の活性化を促進するため、平成26年度に策定した笠周地域振興計画の振興管理に努めた。
3	移住・定住推進事業(再掲)	105,058	—	恵那暮らしサポートセンター内に移住定住相談窓口を置き相談業務の充実を図った。空き家バンク物件の改修に対して空き家改修補助金を交付した。H28年度から若者世代を応援する事業を行い、移住定住の促進を図った。恵那ことぶき結婚相談所と婚活イベントを実施する活動団体の支援を行った。
4	高等教育振興事業(再掲)	3,452	—	市内高等学校の魅力が高めるため、高校と企業が連携し魅力ある高校づくりを支援することに加え、恵那南高校に明知鉄道で通学する生徒に通学定期の半額補助を行った。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容

# 施策・事業 実績シート

基本施策	21 産業を育成・支援する		
理念	活力	基本目標	まちを元気にする
目指す方向	新分野産業の育成、既存企業の育成、農林業の経営基盤の強化など、産業の高度化・転換を推進し、安定した雇用と地域の活力を高めます。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①民有林(市有林含む)間伐面積(単位:ha)	目標	700	750	800	850	900	1,000
	結果	675	659				
②経営耕地面積(単位:ha)	目標	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250
	結果	2,253	2,255				
③農業の担い手の組織数(単位:経営体数)	目標	110	112	114	116	118	128
	結果	113	162				
④製造品出荷額等(単位:億円)	目標	1,600	1,630	1,630	1,660	1,720	1,750
	結果	1,566	—				
⑤商業の活力が、普通以上だと感じている市民(単位:%)	目標	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	50.0
	結果	45.0	42.7				

## 課題解決のための施策

・農林業の衰退を防ぎます
・商業の活性によるにぎわいの創出を図ります
・各種産業を支える経営基盤の強化を図るとともに、求職希望者や新規企業の増加による、新たな活力の創出を図ります
・リニア中央新幹線開業を見据えた産業の活性化を図ります

## 基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	農業振興地域整備促進事業	290	②③	農業振興地域整備計画に基づく優良農地の保全・確保を行うことができた。 情勢の推移による変更では、農用地区域への編入1件3,517㎡、農用地区域からの除外12件6,823.53㎡を行った。
2	農地保全促進事業	317,998	②③	急傾斜地などの耕作不利地である中山間地域において、集落協定を締結した集落に直接交付金を支払うことで、多面的機能の確保及び集落機能の強化に努めた。農地や農業用水など、資源の適切な保全管理を地域ぐるみで行い、環境向上に取り組む組織の支援を行った。炭素貯留効果の高い堆肥の施用を実施することで地球温暖化防止対策に取り組んだ。
3	担い手育成事業	41,939	②③	急速な高齢化とともに担い手が減少する中、主要産業である農業を持続可能なものとするべく新規就農者、認定農業者及び農業生産組織への支援により担い手の育成を図った。新規就農者に対する支援 8人(うち平成28年度2人増加)また、中山間地特有の狭小な耕地面積に加え、担い手の減少に伴い耕作放棄地が増加していく中、生産効率の向上とともに耕作放棄地の利活用を推進するため、農地の集積、集約化を図った。農地の集積を図った面積 8.53ha
4	農産物振興事業	14,090	②③	農業振興協議会を中心として、人・農地プランにもとづく各地域の特色ある農業生産活動の推進を図った。また、農業再生会議を中心として、米の生産調整の推進及び転作田における産地づくりを推進した。 経営所得安定対策交付金申請者 968件
5	鳥獣害対策事業	12,053	②③	・有害鳥獣による生活環境や農作物への被害防止のため、捕獲活動や被害防止に対する助成を行った。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
6	農業基盤整備事業	87,131	②③	美濃東部の償還業務等を委託し92人全員の償還金を徴収した。県単・市単かんがい排水の修繕整備を14ヶ所実施し、農業施設の機能改善を行った。 県営事業負担金では立地条件を生かした農業と活力ある農村づくりが推進でき、ため池整備では老朽化した箇所を改修を実施し地域の防災安全度が効率的、効果的に向上した。
7	農業基盤維持管理事業	21,225	②③	土地改良施設の機能維持のため、維持補修工事、管理委託を行った。えな土地改良区、土岐川防災ダム一部事務組合等施設の維持管理を行い土地改良施設の適正化を図った。
8	畜産振興事業	31,551	③	死亡牛BSE検査事業、乳用牛素牛導入促進対策事業等により畜産農家の負担軽減に努め畜産振興を図った。 強い畜産構造改革支援事業として、豚の病気対策に取り組む為、豚舎を建設。空舎を増やす事で消毒期間を増やし、飼養衛生管理を行った。 飛驒牛安定生産のため、県内の優良な種雄牛遺伝子を継承する県内産の優良な繁殖雌牛を導入及び保留を図った。
9	家畜診療事業	9,683	③	家畜の疾病治療及び予防を行い、畜産農家の経営安定を図った。
10	林業基盤整備事業	100,961	①	交付金及び補助金を利用して林道改良及び舗装を行い、森林整備を促進させた。 局部改良で大型機械及び大型車両が通行できるようになった。
11	林業基盤維持管理事業	41,487	①	林道の恒常的な維持管理により、森林整備促進及び多目的な利用に寄与している。 平成28年度から恵南森林組合に恵南地区の林道維持管理を委託したことで利用者の要望に即時対応できるようになった。また、旧式の建設機械を更新したことで、作業効率の改善が図られた。
12	商工業振興事業	43,160	④⑤	地域総合経済団体として、商工会議所及び商工会が実施した各種事業を支援し、商工業者の経営改善や発展など商工業の活性化を推進した。
13	企業団地開発事業	0	④⑤	恵那市土地開発公社を事業実施主体として、恵那西工業団地開発事業を実施した。 また、その他の企業団地の開発について検討を行った。
14	起業・恵那ブランド育成事業	108,199	④⑤	市内の商工業振興のため、起業支援、新商品開発、空き店舗対策、人材確保支援などへの補助を行った。 中小企業向け低利融資として中小企業小口融資事業を実施するとともに、岐阜県信用保証協会保証料の補給をすることで、融資者への負担を軽減した。

# 施策・事業 実績シート

基本施策	22 交流と連携で元気になる		
理念	活力	基本目標	まちを元気にする
目指す方向	観光まちづくりや都市農村交流などを通じ、地域が主体となって地域資源の魅力を磨き上げ、内外にその魅力を発信し、まちの活力を高めます。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①観光入込客数(延べ)(単位:万人)	目標		405	410	415	420	450
	結果	384	384				
②都市農村交流人口(延べ)(単位:人)	目標		1,230	1,250	1,270	1,300	1,400
	結果	1,127	1,298				
③文化・スポーツ交流人口(延べ)(単位:千人)	目標		203	205	208	210	225
	結果	202	280				
	目標						
	結果						
	目標						
	結果						

## 課題解決のための施策

・恵那の魅力発掘とブランド化、観光基盤の整備を進めます
・滞在・周遊を意識した観光商品の開発を推進します
・恵那の魅力を戦略的に発信します
・リニア中央新幹線開業を見据えた観光振興を進めます

## 基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	観光資源活用事業	373,342	①②③	国の社会資本整備総合交付金を活用した恵那峡再整備事業、岐阜県観光資源魅力向上プロジェクトに位置づけられた恵那山南山麓整備活用事業、串原温泉ささゆりの湯リニューアル事業、一時休止中の大正村浪漫亭リニューアル事業を行い、恵那市の観光資源の磨き上げを行った。
2	観光担い手育成事業	23,247	①②③	恵那市の観光の担い手である一般社団法人恵那市観光協会等を育成強化し、各種の活性化施策を支援した。
3	観光PR事業	40,844	①②③	観光PRのための観光情報を掲載した総合観光ガイドブック等の印刷や、食と観光をセットにした首都圏観光プロモーションの実施、恵那市観光物産展開催に伴う観光PR活動事業補助など観光客の誘致促進を図った。
4	都市農村交流事業	588	①②	ACT事業等の都市農村交流事業や全国棚田(千枚田)サミットへの参画など棚田景観等保全に向けた取り組みを行った。
5	スポーツツーリズム推進事業	19,099	①③	恵那峡ハーフマラソン、日本大正村クロスカントリー、全国レクリエーション大会を開催し、市内外から参加した選手との交流を図り恵那市をPRした。スケート場の利用促進を図るためのイベントや教室等を開催した。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
6	国際交流推進事業	8,354	①②③	恵那市国際交流協会への事業支援を行い、国際交流の推進及び交流事業の充実に努めた。 (事業内容:中学生海外派遣事業、多文化共生事業、にほんご教室)
7	リニアまちづくり事業	203,566	①	大井町野尻野畑大井長島地区から恵那駅方面へのアクセス道路を検討するため概略設計を行った。 リニアまちづくり構想を実施する財源として2億円を基金へ積み立てた。 講演会を開催し、リニアを生かしたまちづくりを啓発した。

# 施策・事業 実績シート

基本施策	23 持続可能型の社会をつくる		
理念	活力	基本目標	まちを元気にする
目指す方向	6次産業化による付加価値向上や地域内消費の促進、再生可能エネルギーの利活用など、地域内で経済やエネルギーが循環する社会を形成し、地域の自立と活力を高めます。		

## 目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①農産物等直販施設の販売額(単位:百万円)	目標		505	510	515	520	580
	結果	488	465				
②年間資源リサイクル率(単位:%)	目標		56.0	56.0	56.0	56.0	56.0
	結果	55.7	63.2				
	目標						
	結果						
	目標						
	結果						
	目標						
	結果						

## 課題解決のための施策

・多様な資源を効果的に活用します
・地域内経済の循環を図るための体制を整備します
・限られた資源の活用を促進します

## 基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	地産地消推進事業	1,213	①	・県内産農産物の学校給食導入支援及び市内農産物の学校給食納入補助事業を行い、地産地消と食農教育推進を行った。また米飯給食の3.5食化を行い、恵那市産のおいしいお米を学校給食へ積極的に導入した。(県内農産物納入実績(岐阜県農業協同組合中央会)58,358kg、市内農産物納入実績(10者)4,313 kg)
2	地域材利用促進事業	4,099	—	・木の駅実行委員会による地域の林地残材の搬出へ補助を行い、間伐の推進を行った。 ・地域材を利用した木造住宅の促進を図るための補助を行った。
3	ごみ減量化対策事業	16,638	②	・拠点型の資源回収を含めた資源回収奨励金事業、環境美化助成金等の推進、生ごみ堆肥化学習会等の開催によりごみの減量化を図った。平成28年度資源回収奨励金交付対象団体は41団体、1,609t/年であった。
4	再生可能エネルギー推進事業	11,056	—	住宅用太陽光発電システム設置に係る補助を行い、地球温暖化防止、自然エネルギーの利用を促進した。平成28年度実績は70件、366kw

